

医療従事者向け調査票回答結果一覧（表2）

モデル事業利用 の契機	自分の 意思 3人 他の医療従事者の助言 5人	遺族の 要請 4人 医療安全管理者の指示 5人	医療機関管理者の 指示 3人 その他 1人	
調査分析依頼時 の期待	専門的な 死因究明 12人 当事者医療従事者 への情報開示 1人 トラブルに備える 3人	専門的な 医療評価 11人 公平な 調査 13人 評価を事故予防へ利用 6人	遺族との 関係改善 2人 自分の勤める 医療機関への情報開示 0人	遺族への 情報開示 7人
利用後に満足できた 点	専門的な 死因究明 8人 当事者医療従事者 への情報開示 0人 トラブルに備える 2人	専門的な 医療評価 10人 公平な 調査 8人 評価を事故予防へ利用 1人	遺族との 関係改善 2人 自分の勤める 医療機関への情報開示 1人	遺族への 情報開示 5人
調整看護師の存在	調査前から知っている 3人	調査依頼して知った 8人	調査依頼後の今も知らない 4人	
現在の気持ち	参加して良かった 7人 どちらかという と参加しなければ 良かった 1人	どちらかという と参加して良かった 5人 参加しなければ 良かった 2人		
モデル事業申請時の 懸念・不安	遺族との溝が 深まるかもしれない 5人	警察への届出 が免れない 2人		

	裁判になった場合、不利な情報として 用いられるかもしれない 5人			
	医療スタッフが 疑われる端緒となる 0人	受け入れ対象が 明示されていない 1人	モデル事業の有効性が 理解できない 5人	
	解剖しても死因が わかるとは限らない 8人	調査結果が出るまでに 時間がかかるかもしれない 6人		
	医療ミスがわかった 場合にトラブルに なるかもしれない 1人	遺族との関係が 悪化してもモデル事業 は面倒をみない 2人	その他 1人	
担当医の説明に対す る立会い者	遺族 1人	遺族の 代理人 4人	警察 0人	NPO・ オンブズマン 2人
	特に誰も立ち会う必要なし 8人	その他 1人		
医療行為前の治療 説明の場に行いまし ましたか	はい 9人	いいえ 6人		
上記の説明は十分と 思いますか	十分 3人	どちらかという と 十分 5人	どちらかという と 不十分 1人	不十分 0人
上記の説明を患者や 家族は理解できてい ますか？	理解できて いたと思う 3人	どちらかという と 理解できていた と思う 5人	どちらかという と 理解できていなかった と思う 1人	理解できて いなかったと思う 0人
解剖前に行った死因 説明	もともとの病気が 悪化 4人	病気と医療と 同程度に関連 4人	医療行為が 主要原因 2人	
	原因がわからない 1人	説明の場に行なかつた 3人		

モデル事業申請の際 の遺族との問題	問題 あった 2人	問題 なかった 12人		
患者さんの 死の予想	予期していない 突然の死 11人	予期できたが 突然に感じた 4人	予期できた死で 驚いていない 0人	
評価結果説明会で 説明された死因	もともとの病気が 悪化 7人	病気と医療と 同程度に関連 5人	医療行為が 主原因 3人	原因が わからない 0人
個人の推測と調査結 果の相違	予想と同じ 7人	どちらかという 予想と同じ 5人	どちらかという と予想外 4人	予想外 0人
上記について 予想外な点	死因 2人	医療行為と死の 因果関係 3人	その他 0人	
評価結果の 納得度	納得できた 7人	どちらかという と納得できた 4人	どちらかという と納得できなかった 1人	納得できなかった 1人
遺族・医師関係	大きく関係改善 2人	少し関係改善 6人	少し関係悪化 4人	大きく関係悪化 0人
遺族との 現状について	関わりなし 7人 示談予定 1人	苦情を受けている 0人 民事訴訟 0人	反省・謝罪をした 3人 警察に告訴された 0人	示談した 2人 その他 3人
回答者の性別	男性 13人	女性 2人		
回答者の年齢	20代 0人 50代 3人	30代 1人 60代 0人	40代 8人 70代以上 1人	
回答者の 所属診療科	外科系 6人	内科系 6人	その他 3人	

回答者の職種	医師 14人	看護師 1人	その他 0人
上記職種での 経験年数	平均 23.62 年(10~54 年)		
異状死届出の経験	ある 4人	ない 9人	

医療安全管理者向け調査票回答結果一覧(表3)

モデル事業利用 の契機	主治医 から相談 4人 医療安全管理者から 勧めた 2人	診療科責任者 から相談 3人 ご遺族からの 要望 1人	医療機関管理者 から相談 3人 その他 5人	
モデル事業申請の際 の遺族との問題	問題 あった 1人	問題 なかった 9人		
遺族が応じずにモデ ル事業を利用できな かった経験	ある 1人(2回)	ない 11人		
調査分析依頼時 の期待	専門的な 死因究明 11人 当事者医療従事者 への情報開示 1人 トラブルに備える 2人	専門的な 医療評価 10人 公平な 調査 9人 評価を事故予防へ利用 5人	遺族との 関係改善 4人 自分の勤める 医療機関への情報開示 2人 その他 1人	遺族への 情報開示 8人

利用後に 満足できた点	専門的な 死因究明	専門的な 医療評価	遺族との 関係改善	遺族への 情報開示
	10人	8人	5人	10人
	当事者医療従事者 への情報開示	公平な 調査	自分の勤める 医療機関への情報開示	
	2人	9人	3人	
	トラブルに備える	評価を事故予防へ利用		
	1人	5人		
調整看護師の存在	調査前から知っている	調査依頼して知った	調査後の今も知らない	
	6人	5人	2人	
調整看護師の 重要な役割	遺族への モデル事業手続の説明	医療機関への モデル事業手続の説明	解剖実施時の 遺族対応	
	3人	3人	7人	
	遺族への進捗状況報告	遺族への精神的ケア	医療機関への情報提供	
	10人	5人	2人	
	説明会での 遺族対応	院内事故調査委員会 へのアドバイス	その他	
	3人	1人	1人	
現在の気持ち	参加して良かった	どちらかというと参加して良かった		
	7人	5人		
	どちらかというと 参加しなければ良かった	参加しなければ 良かった		
	1人	0人		
モデル事業申請時の 懸念・不安	遺族との溝が 深まるかもしれない	警察への届出が 免れない		
	2人	2人		
	裁判になった場合、不利な情報として用いられるかもしれない			
	4人			
	医療スタッフが 疑われる端緒となる	受け入れ対象が 明示されていない	モデル事業の有効性が 理解できない	
	2人	5人	4人	
	解剖しても死因が わかるとは限らない	調査結果が出るまでに 時間がかかるかもしれない		
	6人	4人		

	医療ミスがわかった 場合にトラブルに なるかもしれない	遺族との関係が 悪化してもモデル事業 は面倒をみない	その他	
	2人	4人	0人	
担当医の説明に對する 立会い者	遺族	遺族の 代理人	警察	NPO・ オンブズマン
	5人	2人	2人	3人
	特に誰も立ち会う必要なし	その他		
	6人	1人		
評価結果説明会 での説明内容	もともとの病気が 悪化	病気と医療が 同程度に関連	医療行為が 主原因	原因が わからない
	5人	4人	1人	0人
個人の推測と調査結 果の相違	予想と同じ	どちらかという 予想と同じ	どちらかという 予想外	予想外
	5人	6人	1人	1人
上記について予想外 な点	死因	医療行為と死の 因果関係	その他	
	3人	3人	0人	
評価結果の納得度	納得できた	どちらかという 納得できた	どちらかという 納得できなかった	納得できなかった
	5人	7人	1人	0人
遺族・医師関係	大きく関係改善	少し関係改善	少し関係悪化	大きく関係悪化
	2人	10人	0人	0人
遺族との現状	関わりなし	苦情を受けている	反省・謝罪を行った	示談を行った
	6人	0人	2人	3人
	示談の予定	民事訴訟	警察に告訴された	その他
	0人	0人	0人	2人
回答者の性別	男性	女性		
	7人	6人		
回答者の年齢	20代	30代	40代	
	0人	0人	3人	
	50代	60代	70代以上	
	9人	0人	1人	

医療安全管理者経験年数	平均 7.846 年(1~30 年)		
回答者の職種	医師 6 人	看護師 6 人	その他 1 人
上記職種での経験年数	平均 27.00 年(4~54 年)		
異状死届出の経験	ある 2 人	ない 4 人	

モデル事業に期待した点と満足できた点(表4)

	医療従事者(15 人)		医療安全管理者(13 人)	
	期待した	満足できた	期待した	満足できた
専門的な医療評価	11 人	10 人	10 人	8 人
専門的な死因究明	12 人	8 人	11 人	10 人
公平な調査	13 人	8 人	9 人	9 人
遺族への情報開示	7 人	5 人	8 人	10 人
トラブルに備える	3 人	2 人	2 人	1 人
遺族との関係改善	2 人	2 人	4 人	5 人
医療機関への情報開示	0 人	1 人	2 人	3 人
評価を事故予防に利用	6 人	1 人	5 人	5 人
医療従事者への情報開示	1 人	0 人	1 人	2 人

「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」

アンケート調査票（患者様ご遺族）

ご記入上の注意

- ★ アンケートは問1～問25までこの表紙を含めて11ページあります。
- ★ このアンケートへの協力は任意です。ご協力いただける場合も、さしつかえのある質問については、お答えいただかなくてもかまいません。
- ★ ご回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- ★ ご記入いただいたアンケート用紙は、返信用封筒に入れ、2週間以内に郵送によりご返送くださるようお願いいたします。

このアンケートについてのお問い合わせ、ご意見は下記までご連絡ください。

〒260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学大学院医学研究院法医学教室

調査担当：武市尚子

TEL: 043-226-2078

E-mail: takeichi@faculty.chiba-u.jp

【2】モデル事業についての説明についてどのようにお感じになりましたか？
あてはまる数字ひとつに○をつけてください

- (1) ていねいで、誠意を感じた
- (2) 事務的な対応であると感じた
- (3) 高圧的、強制的であると感じた
- (4) 特に何も感じなかった
- (5) その他 ()

【3】モデル事業の調査では解剖を行います。解剖に対してどのようにお感じになりましたか？あてはまる数字ひとつに○をつけてください

- (1) 解剖することに非常に抵抗があった
- (2) 解剖することに少し抵抗があった
- (3) 解剖することにあまり抵抗はなかった
- (4) 解剖することに全く抵抗はなかった

理由

問4. どなたかと話しあって、このモデル事業に参加することを決意されましたか？

- (1) はい
- (2) いいえ (誰にも相談しなかった)



はいと答えた方におうかがいします。

問4-A それはどなたですか？あてはまる数字全てに○をつけてください。

- (1) 同居しているご家族・親せき
- (2) 別居しているご家族・親せき
- (3) 治療を受けていた医療機関の医師や職員
- (4) お知り合いの中の医療関係者
- (5) お知り合いの中の法律関係者
- (6) その他 ()

問5. 今回、モデル事業に参加しようとしたのはどのような理由からですか？

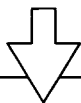
あてはまる数字全てに○をつけてください

- (1) 正確な死因を知りたいから
- (2) 医療機関に協力を求められたから
- (3) 家族、親せきに勧められたから
- (4) 医学の進歩のため
- (5) 医療ミスの有無を知りたいから
- (6) 亡くなった方にできるだけの事をしてあげたいから
- (7) トラブルがあった場合に備えて、何らかの証拠を確保しておきたいから
- (8) その他 ()

問6. モデル事業で実施する解剖の説明を受けたとき、治療を受けていた医療機関で行う病理解剖や司法解剖、行政解剖の選択肢についても説明を受けましたか？

あてはまる数字ひとつに○をつけてください

- (1) はい (問5-Aにもお答えください) (2) いいえ (問6にお進みください)



はいと答えた方にお聞きします。

問6-A 他の解剖ではなく、モデル事業で実施する解剖を選んだ理由としては何ですか？あてはまる数字全てに○をつけてください。

- (1) より詳しいことを教えてもらえそうだから
- (2) 公平そうだったから
- (3) 説明してくれた人に勧められたから
- (4) 臨床の専門家の意見も聞いてもらえるから
- (5) その他 ()

ご家族が診療を受けている間や亡くなったときのことをおうかがいします。

問7 亡くなった方の治療について、あなたの印象やお考えを教えてください。
もっとも近い数字ひとつに○をつけてください。

A 【医療関係者の説明や、対応について】

- (1) 良い印象を受けた
- (2) まあまあ良い印象を受けた
- (3) あまり良くない印象を受けた
- (4) 悪い印象を受けた

B 【治療そのものについて】

- (1) 不満はない
- (2) あまり不満はない
- (3) 少し不満である
- (4) 不満である

問8. 亡くなったご家族が治療を受ける段階で、亡くなられる可能性を予期していましたか？あてはまる数字ひとつに○をつけてください。

- (1) 予期していた
- (2) 少し予期していた
- (3) あまり予期していなかった
- (4) 全く予期していなかった

問9. ご家族が亡くなったとき、その死が突然に感じられましたか？
もっとも近い数字ひとつに○をつけてください

- (1) 非常に突然に感じた
- (2) 少し突然に感じた
- (3) あまり突然とは感じなかった
- (4) 全く突然とは感じなかった

問10. ご家族が亡くなった後、診療を受けた医療機関のスタッフから死亡した原因に関して、十分な説明を受けましたか？
あてはまる数字ひとつに○をつけてください。

- (1) 十分な説明を受けた
- (2) 一応の説明を受けた
- (3) ほとんど説明を受けていない
- (4) 覚えていない または よくわからない

問 1 1. ご家族が亡くなった後、診療を受けた医療機関のスタッフから死亡した原因に関して、どのような説明を受けましたか？あてはまる数字ひとつに○をつけてください。

- (1) もととの病気が悪化した可能性が高い
- (2) 病気と医療のどちらも同程度に関連している可能性が高い
- (3) 医療行為が主な原因となった可能性が高い
- (4) 原因が、ほとんどわからない

問 1 2. ご家族が亡くなった後、診療を受けた医療機関から受けた死亡した原因に関する説明にそのとき納得していましたか？あてはまる数字ひとつに○をつけてください。

- (1) 十分に納得していた
 - (2) 一応納得していた
 - (3) あまり納得していなかった
 - (4) 全く納得していなかった
 - (5) 覚えていない または よくわからない
- } { 理由 } }

問 1 3. モデル事業に参加する前、亡くなった方が受けた医療行為に、何らかの問題があったのではないかと感じていましたか？あてはまる数字ひとつに○をつけてください。

- (1) 疑っていなかった
- (2) あまり疑っていなかった
- (3) 少し疑っていた
- (4) 疑っていた

モデル事業参加後の手続などについておうかがいします。

問 1 4. モデル事業に参加されてみて、モデル事業の内容が事前の説明と異なるなど、何かとまどわれたことはありましたか？

- (1) あった
 - (2) なかった
- { 具体的にはどのようなことでしょうか？ }

問14-A. 解剖が行なわれている間のモデル事業側の付き添いや付き添い中の言動に関して好感を持たせた点や、改善してほしいと感じた点がありますか？

(1) 好感を持たせた点

(2) 改善してほしいと感じた点

[]

[]

問15. モデル事業で解剖が行われた後（最終的な評価結果報告の前に）、解剖結果の説明は誰から受けましたか？

あてはまる数字全てに○をつけてください。

- (1) 解剖執刀医
- (2) 解剖執刀医以外のモデル事業担当者
- (3) その他から ()
- (4) 誰かわからなかった
- (5) 評価結果報告前には、解剖結果の説明を受けていない

問16. 解剖結果の説明は理解できましたか？

あてはまる数字ひとつに○をつけてください。

- (1) よく理解できた
- (2) まあまあ理解できた
- (3) あまり理解できなかった
- (4) 全く理解できなかった

問17. 最終的な評価結果報告を受けるまでの間、モデル事業側が配慮した方が良かったことがありましたら、お教えてください。

- (1) 中間報告をしてほしい → () か月の時点で
- (2) 最終結果だけでよい
- (3) その他

（具体的にはどのようなことでしょうか？）

問17-A. モデル事業による調査分析において、調整看護師の業務の中で、重要だと感じたことは何ですか？（重要だと感じたこと2つに○をつけてください）

- (1) 解剖を行なうにあたっての説明
- (2) 解剖が行なわれている間の対応、付き添い
- (3) 解剖後、説明会の間までのモデル事業における進捗状況などに関する情報提供
- (4) 評価結果報告書の説明会の時の対応

問 18. 評価結果報告説明会についてお伺いします。
医療行為と死亡との関連の説明は理解できましたか？
あてはまる数字ひとつに○をつけてください

- (1) よく理解できた
- (2) まあまあ理解できた
- (3) あまり理解できなかった
- (4) 全く理解できなかった

問 19. 評価結果報告説明会において、医療行為と死亡はどのような関連があったと説明を受けましたか？
あてはまる数字ひとつに○をつけてください

- (1) もとものの病気が悪化した可能性が高い
- (2) 病気と医療のどちらも同程度に関連している可能性が高い
- (3) 医療行為が主な原因となった可能性が高い
- (4) 死因はわからなかった

問 20. 医療行為と死亡の関連についての説明に納得されましたか？
あてはまる数字ひとつに○をつけてください。

- (1) 十分納得した
 - (2) 一応納得した
 - (3) あまり納得していない
 - (4) 全く納得していない
 - (5) 覚えていない または よくわからない
- } (理由))

問 21. モデル事業参加前に医療行為と死亡の関連について考えていたことと、実際に説明を受けた内容は同じでしたか？
あてはまる数字ひとつに○をつけてください。

- (1) 自分が考えていたことと同じであった
- (2) 自分が考えていたこととは違う内容であった
- (3) 特に考えていたことはなかった
- (4) その他 ()

現在のあなたのお気持ちについておうかがいします。

問22. あなたのお気持ちについて、モデル事業参加前と、参加後で何か変化がありましたか？変化があったとすると、どのように変化があったか教えてください。

(A) 入院先（または診療を受けた）医療機関や医療スタッフへの信頼

- (1) 良い方に変化した
- (2) 悪い方に変化した
- (3) 変化はなかった

(B) 解剖に対する抵抗感

- (1) 良い方に変化した
- (2) 悪い方に変化した
- (3) 変化はなかった

(C) 医療界全般に対する信頼

- (1) 良い方に変化した
- (2) 悪い方に変化した
- (3) 変化はなかった

(D) その他、お気づきの変化がありましたら、教えてください

[]

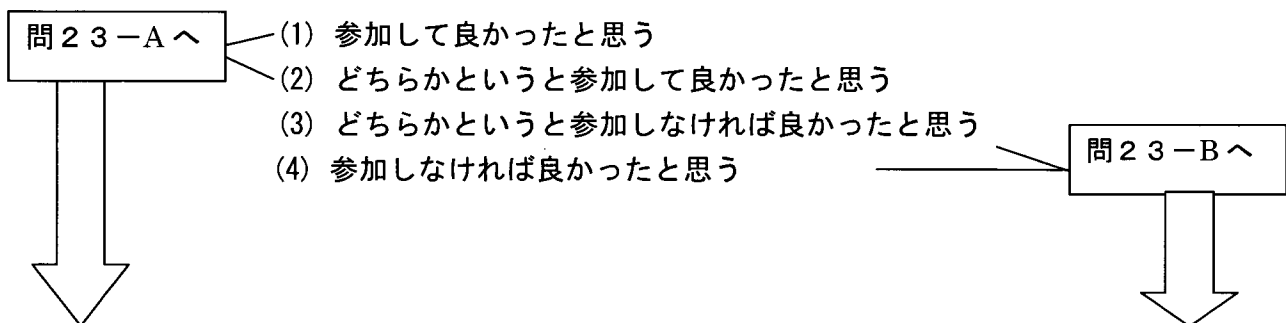
問22-A. ご家族が診療を受けた医療機関について、現在の医療機関の取り組みについてどう思われますか。ご存知の範囲でお教えてください。

- (1) 院内調査委員会が開催されたことを知っている
- (2) 院内調査委員会により真相が究明され、報告や説明を受けて納得した
- (3) 院内調査委員会の報告や説明を得たが真相究明は不十分だと思う
- (4) 医療機関において院内調査委員会の結果を有効に活用していると思う
- (5) モデル事業の結果を医療機関において、有効に活用していると思う
- (6) 医療機関において、同様の事故の再発防止の取り組みがなされていると思う
- (7) 医療機関の取り組みについては、知らない（わからない）

問22-B. 現在の医療機関との関係について差し支えない範囲でお教えてください。
あてはまるもの全てに○をつけてください。

- (1) 医療機関とはその後関わりあっていない
- (2) 医療機関の反省謝罪が得られた
- (3) 医療機関と示談を行った（行う予定である）
- (4) 医療機関に対し民事訴訟を提起した（提起する予定である）
- (5) 医療機関を警察に告訴した（する予定である）
- (6) その他（具体的に： _____)

問23. モデル事業に参加したことについての現在のお気持ちをお聞きします。
ご自分の気持ちにもっとも近いと思われる数字ひとつに○をつけてください。



問23-A
モデル事業に参加してよかったのはなぜですか？（複数回答可）

- (1) 死因がわかったから
- (2) 医療行為と死亡との関連がわかったから
- (3) 医療機関に対する疑いや、不信感がなくなったから
- (4) 亡くなった方のために最善を尽くせたと思えたから
- (5) 裁判や和解のための証拠を得られたから
- (6) その他

[_____]

問23-B
モデル事業に参加しなければ良かったと思うのはなぜですか？
（複数回答可）

- (1) 結局死因がわからなかったから
- (2) 医療行為と死亡との関連がわからなかったから
- (3) 遺体にメスを入れたことが、悔やまれるから
- (4) 評価結果報告書の内容に納得できないから
- (5) 死因や評価結果について、十分な説明がなされなかったから
- (6) モデル事業の中で不愉快な経験をしたから
（具体的にはどのようなことですか： _____)
- (7) その他

[_____]

「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」

アンケート調査（医療安全管理者）

ご記入上の注意

- ★ アンケートは問1から問14<F>まで、この表紙を含めて7ページあります。
- ★ このアンケートへの協力は任意です。ご協力いただける場合も、さしつかえのある質問については、お答えいただかなくてもかまいません。
- ★ ご回答は当てはまる番号に○をつけてください。
- ★ この調査は無記名ですので、ご回答によって個人が特定されることはありません。
- ★ 但し、調査の集計結果をお知りになりたい方には、調査票末尾の記入欄に連絡先をお書き頂きますと、後日結果を郵送いたします。
- ★ ご記入いただいた本調査票は、返信用封筒に入れて、2週間以内に郵送によりご返送いただきますようお願い申し上げます。

このアンケートについてのお問い合わせ、ご意見は下記までおよせください。

113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院医学系研究科 法医学教室

調査担当者：中島範宏

TEL 03-5841-3367

E-mail: norihiron-gamo@umin.ac.jp

